



## 平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス

コード番号 3063 URL <http://www.igroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 赤工 朝飛

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 平成27年10月13日 配当支払開始予定日 平成27年10月31日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	6,967	4.0	△61	—	△38	—	△168	—
27年2月期第2四半期	6,701	21.1	63	—	52	—	6	—

(注)包括利益 28年2月期第2四半期 △172百万円 (—%) 27年2月期第2四半期 11百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年2月期第2四半期	△21.07		—	
27年2月期第2四半期	0.87			0.87

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
28年2月期第2四半期	8,372		1,842	22.0			229.94	
27年2月期	8,659		2,026	23.4			253.02	

(参考)自己資本 28年2月期第2四半期 1,838百万円 27年2月期 2,023百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円	
27年2月期	—	1.00	—	1.50		2.50
28年2月期	—	1.50				
28年2月期(予想)			—	1.50		3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	14,100	3.2	150	121.9	139	39.5	49	69.7		6.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期2Q	8,196,400 株	27年2月期	8,196,400 株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	200,035 株	27年2月期	200,035 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期2Q	7,996,365 株	27年2月期2Q	7,996,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等が様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融政策や経済政策等により、企業収益の改善や賃金上昇の動きが見られるなど緩やかな景気回復基調で推移いたしました。また、物価の上昇や個人消費の停滞、海外経済の下振れリスクなど、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、原材料価格の高騰に加え、人材不足やそれに伴うアルバイト時給の上昇など、人件費の増加傾向が続いており、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、当社グループでは、人員の融通や店舗政策などを効率的に実施できるよう、従来は子会社毎に管理していた組織について指示系統を一本化し、営業組織の見直しを行いました。また、6店舗を新規出店し、2店舗を取得するとともに、5店舗をリニューアルオープン、6店舗を閉店いたしました。これらにより、平成27年8月末日現在の業態数及び店舗数は、58業態132店舗（国内131店舗、海外1店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,967百万円（前年同期比4.0%増）と増収でありましたが、原材料価格の高騰及び人件費の増加を主因に、営業損失は61百万円（前年同期は営業利益63百万円）、経常損失は38百万円（前年同期は経常利益52百万円）となり、店舗閉鎖損失等の特別損失を計上した結果、四半期純損失は168百万円（前年同期は四半期純利益6百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 飲食事業

原材料価格の高騰傾向が顕著となっておりますので、メニュー内容の見直しに取り組みました。また、リニューアルオープンや不採算店舗の閉店など、既存店の改善に注力いたしました。

主な新規出店といたしましては、平成27年3月に「SARU CAFE（サルカフェ）ラシック店」（名古屋市中区）、「芋蔵（イモゾウ）霞が関店」（東京都千代田区）、4月に「MANOA VALLEY CAFE（マノアバレーカフェ）」及び「ためつ食堂（タメツショクドウ）」（名古屋市中村区）、「たんと」（名古屋市中区）をオープンいたしました。

また、「九州うまかもん屋（キュウシュウウマカモンヤ）」（岐阜県各務原市）、「Mulberry St.（マルベリーストリート）」（大阪市北区）、「猿Cafe（サルカフェ）星ヶ丘店」（名古屋市中区）、「鹿児島うまかもん市場（カゴシマウマカモンイチバ）」（名古屋市中村区）、「薩摩（サツマ）はやと」（京都市下京区）、「猿Cafe 葵店」（名古屋市中区）を閉店いたしました。

主なリニューアルにつきましては、平成27年6月に「しゃぶしゃぶ謝々（シャシャ）まるmozoワンダーシティ上小田井店」（名古屋市中区）を「THE NEWYORK STEAK HOUSE（ザニューヨークステーキハウス）mozoワンダーシティ上小田井店」として、7月に「オッティモイオン東浦店」（愛知県知多郡東浦町）を「しゃぶしゃぶ彩菜（サイサイ）イオン東浦店」として、8月に「The Oyster Bar Nagoya（ザオイスターバーナゴヤ）」（名古屋市中区）を「DRY STADIUM（ドライスタジアム）」、「88huithuit（ユイトユイト）静岡呉服町店」（静岡市葵区）を「どなんち静岡呉服町店」として、リニューアルオープンいたしました。

その結果、飲食事業における売上高は6,287百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は235百万円（同24.5%減）となりました。

#### ② ブライダル事業

「LUCENT Mariage Tower（ルーセントマリアージュタワー）」について、強みである高層階からの景観が名古屋駅周辺の開発工事により悪化しており、成約率が低下いたしました。その結果、ブライダル事業における売上高は395百万円（前年同期比11.5%減）、営業利益は0百万円（同96.8%減）となりました。

#### ③ 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS（ジーセブン）刈谷」などの賃貸収入に加え、前連結会計年度に開設したテナントビル「ジェイチル名駅」が収益に寄与いたしました。その結果、不動産事業における売上高は910百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は80百万円（同4.2%増）となりました。

#### ④ その他の事業

広告代理業及び卸売業等のその他の事業における売上高は465百万円（前年同期比15.9%増）、営業利益は22百万円（同5.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,372百万円（前連結会計年度末比287百万円減少）となり、負債は6,530百万円（同103百万円減少）、純資産は1,842百万円（同184百万円減少）となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ152百万円減少し1,398百万円となりました。これは、現金及び預金が210百万円減少し、売掛金が31百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ133百万円減少し6,970百万円となりました。これは、減価償却及び店舗閉鎖等により、建物及び構築物が121百万円、差入保証金が65百万円、それぞれ減少したことなどが主な要因であります。

繰延資産につきましては、株式交付費の減少を主因に、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し4百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ246百万円減少し2,635百万円となりました。これは、買掛金が191百万円、未払法人税等が29百万円、それぞれ減少したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ143百万円増加し3,894百万円となりました。これは、長期借入金が222百万円増加し、社債が23百万円減少したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ184百万円減少し1,842百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上により、利益剰余金が180百万円減少したことなどが主な要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが85百万円の資金減（前年同期は799百万円の資金増）、投資活動によるキャッシュ・フローが410百万円（同45.2%減）の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが285百万円（同18.4%増）の資金増となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は539百万円となり、前連結会計年度末の749百万円に比べ210百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は85百万円（前年同期は799百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失を119百万円、非資金項目である減価償却費を389百万円計上し、仕入債務の減少額が191百万円あったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は410百万円（前年同期比45.2%減）となりました。これは主に、新規出店やリニューアル等に伴う有形固定資産の取得による支出が423百万円、差入保証金の回収による収入が46百万円、差入保証金の差入による支出が33百万円あったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は285百万円（前年同期比18.4%増）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が805百万円あり、長期借入金の返済による支出が567百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高につきましては、不採算店舗の閉鎖及び新規出店の延期等での減少はあるものの、既存店のリニューアル及び下期の新規出店による増加を見込んでおり、概ね計画どおり推移するものと考えております。また、利益面におきましては、上期において、客単価の向上による粗利率向上のための施策を実施するとともに、不採算店舗の閉店やリニューアル等を実施したことにより、下期での収益改善を見込んでおります。

平成28年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年4月10日に公表いたしました業績予想から現時点におきまして、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	749,852	539,282
売掛金	381,352	413,203
商品及び製品	411	363
原材料及び貯蔵品	95,092	96,633
その他	334,820	363,856
貸倒引当金	△10,864	△15,220
流動資産合計	1,550,665	1,398,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,284,808	3,163,385
土地	1,632,852	1,632,852
その他(純額)	535,442	633,650
有形固定資産合計	5,453,103	5,429,888
無形固定資産	50,878	44,041
投資その他の資産		
投資有価証券	8,230	8,230
差入保証金	1,337,668	1,271,923
その他	260,838	218,600
貸倒引当金	△7,075	△2,675
投資その他の資産合計	1,599,661	1,496,078
固定資産合計	7,103,644	6,970,008
繰延資産		
株式交付費	2,853	1,712
社債発行費	2,787	2,399
繰延資産合計	5,641	4,111
資産合計	8,659,951	8,372,238

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	581,055	389,632
短期借入金	—	117,000
1年内返済予定の長期借入金	963,227	978,396
1年内償還予定の社債	46,000	46,000
未払金	790,486	704,286
未払法人税等	47,140	17,628
賞与引当金	—	12,811
その他	454,789	370,187
流動負債合計	2,882,699	2,635,942
固定負債		
社債	138,000	115,000
長期借入金	3,187,034	3,409,788
資産除去債務	67,241	70,252
その他	358,332	299,162
固定負債合計	3,750,608	3,894,203
負債合計	6,633,307	6,530,145
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,068,969	1,068,969
資本剰余金	998,969	998,969
利益剰余金	77,660	△102,828
自己株式	△76,021	△76,021
株主資本合計	2,069,577	1,889,087
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△46,371	△50,432
その他の包括利益累計額合計	△46,371	△50,432
新株予約権	3,438	3,438
純資産合計	2,026,643	1,842,093
負債純資産合計	8,659,951	8,372,238



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	6,701,406	6,967,772
売上原価	2,027,578	2,164,794
売上総利益	4,673,827	4,802,978
販売費及び一般管理費	4,610,719	4,864,884
営業利益又は営業損失(△)	63,108	△61,906
営業外収益		
受取利息	720	341
協賛金収入	31,351	59,030
設備賃貸料	2,875	5,439
為替差益	-	1,143
その他	6,206	14,860
営業外収益合計	41,154	80,815
営業外費用		
支払利息	32,926	36,737
為替差損	6,189	-
賃貸費用	2,344	11,799
その他	9,812	8,597
営業外費用合計	51,271	57,135
経常利益又は経常損失(△)	52,990	△38,225
特別損失		
固定資産売却損	-	1,750
固定資産除却損	-	356
減損損失	-	12,560
店舗閉鎖損失	918	66,312
特別損失合計	918	80,979
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	52,072	△119,204
法人税等	45,103	49,289
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	6,969	△168,494
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,969	△168,494

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	6,969	△168,494
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,007	△4,060
その他の包括利益合計	5,007	△4,060
四半期包括利益	11,977	△172,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,977	△172,555

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	52,072	△119,204
減価償却費	409,024	389,485
のれん償却額	4,305	4,438
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,139	12,811
受取利息及び受取配当金	△720	△342
支払利息	32,926	36,737
減損損失	—	12,560
店舗閉鎖損失	918	66,312
売上債権の増減額(△は増加)	△136,201	△31,841
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,844	△2,258
仕入債務の増減額(△は減少)	331,141	△191,443
その他	212,166	△173,852
小計	881,648	3,402
利息及び配当金の受取額	720	330
利息の支払額	△32,031	△41,118
法人税等の支払額	△50,516	△47,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	799,821	△85,062
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△714,281	△423,569
有形固定資産の売却による収入	—	2,530
無形固定資産の取得による支出	△3,395	△1,563
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	4,186	—
差入保証金の差入による支出	△46,734	△33,872
差入保証金の回収による収入	12,172	46,007
貸付けによる支出	△3,950	△2,060
その他	2,375	1,796
投資活動によるキャッシュ・フロー	△749,627	△410,731
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△698	117,000
長期借入れによる収入	810,000	805,000
長期借入金の返済による支出	△511,641	△567,077
リース債務の返済による支出	△29,154	△34,689
社債の償還による支出	△23,000	△23,000
新株予約権の発行による収入	3,438	—
配当金の支払額	△7,996	△11,994
財務活動によるキャッシュ・フロー	240,947	285,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	291,133	△210,569
現金及び現金同等物の期首残高	648,107	749,852
現金及び現金同等物の四半期末残高	939,241	539,282

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,006,193	446,925	98,670	6,551,788	149,617	6,701,406	—	6,701,406
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	50,733	—	744,276	795,010	252,571	1,047,581	△1,047,581	—
計	6,056,926	446,925	842,947	7,346,799	402,188	7,748,987	△1,047,581	6,701,406
セグメント利益	311,794	24,030	77,232	413,056	24,207	437,264	△374,156	63,108

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△374,156千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「飲食事業」セグメントにおいて、サンクスマインド株式会社の全株式を取得し子会社化いたしました。当該事象により発生したのれんの金額は、当第2四半期連結累計期間においては、36,737千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,243,963	395,283	121,797	6,761,044	206,728	6,967,772	—	6,967,772
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	43,470	65	789,085	832,622	259,225	1,091,848	△1,091,848	—
計	6,287,433	395,349	910,883	7,593,666	465,954	8,059,620	△1,091,848	6,967,772
セグメント利益又は損失(△)	235,385	776	80,442	316,604	22,816	339,421	△401,327	△61,906

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△401,327千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食」セグメントにおいて、サンクスマインドの店舗閉鎖に係る構築物及び工具器具備品等について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、12,560千円であります。